

TSC2 月例会資料

フランス人学校訪問報告

フランス人学校の概要（同校ホームページから）

1967 年、日本の私立学校「暁星学園国際部日仏科」として、フランス政府の援助により建設された新校舎内に開校。1973 年、日仏科はフランス政府の所有となり、1975 年 1 月、リセ・フランコ・ジャポネ・ド・東京となる。1976 年新学期、フランス教育省によって正式に承認される。1990 年、フランス在外教育庁（AEFE）の創設に伴い、リセはその直轄校となる。

所在地は都営三田線新板橋駅下車 5 分



正面入口 この手前は駐車スペース
外交官ナンバーや他県の手車あり

生徒数の変遷

1997 年以降、生徒数は毎年およそ 50 人ずつ増加、その一部を他の校舎に移さざるを得なくなる（明正小学校および東京日仏学院）。2000 年に増築が決定、2001 年新学期に新校舎が完成をみる。教室 4 室、食堂、多目的室が増設され、大規模な校舎接続工事が行われた。2003 年新学期、幼児・初等教育科の生徒は富士見校に、中・高等教育科は旧柳北小学校（台東区より賃貸）にそれぞれ移される。

2006 年 1 月、日本学校法人格を取得。2012 年 5 月、リセ・フランコ・ジャポネ・ド・東京は、東京国際フランス学園と学校名を変更、北区滝野川に移転。（旧都立池袋商業高校）新校舎完成に伴い、幼児・初等教育科の生徒は富士見校に別れを告げ、春休み明けの 5 月 8 日、滝野川校舎に移る。

2012 年 9 月 3 日、中・高等教育科も含めた全校生徒が滝野川校で初めての新学期を迎える。

2012 年 10 月 9 日、エレヌ・コンウェイ・ムレ在外フランス人担当大臣、田中真紀子前文部科学省大臣、アンヌ＝マリー・デコットフランス在外教育庁長官、クリスチャン・マセ駐日フランス大使、安藤立美東京都副知事の立会いの下、東京国際フランス学園の開校式が執り行われた。東京国際フランス学園長ミシェル・ソゼと共に、来賓の方々によるテープカット、続いて新校舎記念碑の除幕式が行われた。2017 年 05 月 27 日東京国際フランス学園創立 50 周年記念。

授業の様子

フランス語にてフランスの教科書により指導。国際バカロニア資格の合格を目指している（合格率 97%）授業時数は、資格対策の補習も含めかなり多いようである。

中学 3 年理科を参観。1 クラスを 2 分割した少人数指導。各教室にプロジェクター配置。電子教科書は、理科では導入されてなく、授業者が教科書をスキャンしたものを投影していた。教科書は、貸出し制。ただし、多くの生徒は、自宅用に購入しているとのこと。参観した授業では、酸とアルカリの反応についての実験のまとめを行っていた。2 時間続き（90 分）の中で、塩酸と水酸化ナトリウムの反応について説明していた。（教科書および授業プリント参照）

教科書を見ると、ほぼ日本と同様の内容を行っている。（例中 2 で電流、中 3 でイオン）対話的な場面が多く掲載。実験器具が日本と違うデザインなのが面白い。